

年頭に当たっての私の抱負 と 笠岡西駅建設構想についての基本的な考え

あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。今年もよろしく
お願いいたします。

さて、今年はその痛ましい戦争が終わって、60 周年の記念すべき節目の年に当たります。

私はこの記念すべき年に、私たち国民が今日の世界秩序がどういう基礎の上に成り立っ
ているかをしっかり踏まえ歴史の逆流を許さないことが強く求められていると思います。
その立場から、日本が直面している緊急課題 3 点にわたって頑張ろうと思っています。

第一は日本軍国主義による侵略戦争を「正しい戦争だった」とする、歴史をゆがめた戦
争美化論の横行や台頭を許さないことです。ドイツはナチスの戦争犯罪を徹底批判してヨ
ーロッパで信頼ある地位を築いてきました。日本がアジア諸国との関係で、戦争責任を認
め、歴史認識を共有し、平和な未来を目指す関係を築くことが非常に大切になっています。

第二は憲法 9 条を壊すあらゆる企てに反対し、世界に誇るこの平和原則を守ることです。
憲法 9 条には二度と戦争をしないという国際公約、戦争放棄と軍備禁止によって世界平和
を先駆けて築くという二つの決意が込められています。戦争のない世界を創ろうとの願い
は、世界の人々の強い願いです。「憲法 9 条の理想に国際政治の現実が近づいている。その
ときにこの宝を捨て去るぐらいおろかな歴史の逆行はない。」といわれています。

第三には「国連憲章の平和のルールを守れ」を旗印にした共同を、日本でも世界でもさ
らに大きく広げることです。イラク戦争を進めたアメリカ、派兵続行を固執している国は

21 力国です。世界でいよいよ孤立を深めています。世界をアメリカの思うままに動かせると信じている勢力その追随者に未来はありません。

暮らしの問題では、2005 年、2006 年の 2 年間で年金保険料の引き上げなど、すでに決定済みの負担増で 3 兆円、定率減税の縮小、廃止など今後計画されているものが 4 兆円、総額 7 兆円もの国民負担増、さらに 2007 年度からの消費税 2 桁増税計画などに反対し国民生活を守ることです。

笠岡市政の問題に目を向けますと、皆さんもマスコミ報道などでご存知のことと思いますが、吉浜に笠岡西駅建設構想がクローズアップされています。市も JR に建設を申し入れると報道されました。この構想は、笠岡市の未来を語るプラン、審議会の発足当初から関わっている委員が「夢を語ったもので財政的裏付けはない」と語っている笠岡都市計画マスタープランにうたわれているものです。

私は議会選出の審議会委員の一人として、この駅の構想を含むプランには賛同いたしました。しかし、笠岡西駅建設構想に伴い、笠岡市地元負担、市民負担が押し付けられたままその構想が具体化されるなら、反対することを審議会でも明らかにしてきたところです。

皆さんもご存知でしょう。新駅の建設費用は、100%地元負担です。すでに建設が進められている岡山西駅、12 億円にものぼる費用が岡山市負担となっています。約 300 億円の借金を抱える笠岡市、駅の建設を進めるなら新たな借金をかかえることとなります。そして必ずその付けは市民の肩に重くのしかかってきます。

又、地元吉浜を中心とした市民の意見は十分に反映されていません。交通便がよくなるといわれていますが、街づくりとの関わりもありません。駅の建設のみが目的となり、先行しているとしかいいようがありません。私はもし西駅の建設が具体化されるなら、以上述べた問題点などが十分に解決されることが基本と考えています。

私は、問題点の解決のない一方的な具体化には反対です。何より市民参加の話し合いがもっとも大切にされなければなりません。

「昭和の合併で旧笠岡町と旧金浦町が一緒になった。笠岡のみが発展し、金浦が置いてきぼりにされた。それから言って駅の建設には賛成だ。」との意見もあります。「子供に与える環境を考えているのか。便利になればええもんとちがうぞ。」「大借金を抱えている笠岡、何を考えているのか、格好ばかりじゃ」「開発はもうええ、自然環境を大切にし、人に優しい、人を大切にする街づくりが必要じゃ。今最もそのことを行政が考えることじゃ。偉い農業学者も『大型開発をやめ、自然環境を保護することが大切じゃ。』といつてる。」などの強い反対意見があります。私は国地方合わせて、約 800 兆円の借金を抱えた原因、大型公共事業、開発事業はもう辞めるべきと考えています。公共事業は今進められている下水道工事など、生活密着型公共事業にとどめるべきです。

今必要なのは、自然にも人にも優しい、住んでいてよかったと言える街づくりです。その街づくりをどう進めるのか、大人社会が考えなければならない重要な課題だと思います。私は、環境破壊が叫ばれている今だからこそ、笠岡の将来を担う子供たちに、自然と人間社会が調和した、歴史的な町並木が大切にされる、豊かな笠岡を残すことが大切と考えています。

皆様方には、この西駅構想に関しまして、多々ご意見をお持ちのことと思います。ぜひ多数のご意見を賜りますようお願いいたします。